

卵の殻とドライハーブを使ったハーブクラフトづくり

作成者：服部緑地都市緑化植物園友の会 八十田 晶子

- 対象者・人数：小学校低学年～高学年30～35名
- 所要時間：120分（2時間程度）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント4名
- 実施場所：植物園、イベント会場



■ 資材

- ・卵の殻
（生卵の中央に直径約2cmの穴をあけ、中身を取り出したもの）
- ・木綿布
- ・オーガンジー（薄くて半透明の張りのある布）
- ・ボンド
- ・竹串
- ・A4サイズくらいの用紙
（各自に配布し、その上で作業してもらう）
- ・布を切るハサミ
- ・ティッシュペーパー、ウェットティッシュ



■ 花材

- ・ドライハーブ：ラベンダー、ローズマリー、
レモンバーベナ など
- ・フレッシュハーブ：レモングラス、レモンバーム、
スペアミント など



【指導内容と目的】

- ・身近にある食材の卵とドライハーブを使って、香りが楽しめる「エッグポマンダー」というハーブクラフトを作成する。
- ・ハーブの特徴のひとつである“香り”を通してハーブという植物に関心を持ってもらい、そのリラックス効果を体験してもらう。
- ・卵の殻に布を貼り付けていく作業は細かい作業で、集中力を養うことが出来る。
- ・種類の違う布をどのように卵に貼り付けるか、詰めるハーブをどう選択するかを自分自身で考えることによって自主性を養い、一つのものを作り上げる達成感を体験してもらう。

【対象者への配慮】

- ・参加者をグループに分け、各テーブル（グループ）に1名指導者もしくはアシスタントが付いてその補助を行う。
- ・工作用のはさみでは布が切れにくいいため、布切り専用のはさみを持参してもらう。
- ・卵の殻は卵パックに入れて作業開始時に各グループに配る。
- ・卵の殻は人数分よりも多く準備しておく。
- ・ボンドを使う作業なので、ウェットティッシュやティッシュペーパーを用意しておく。布は、子どもたちにも楽しめるような模様を選び何種かミックスしても楽しい。
- ・オーガンジーは卵の殻にハーブを詰める作業を終えた時点で各自に必要な枚数を手渡しする。
- ・小学校の授業時間に合わせ、おおよそ45～50分経過したところで、約10分間の休憩時間を設ける。その間、フレッシュハーブを用いたハーブティーサービスを行い、ハーブを味わう楽しみも体験してもらう。
- ・各テーブルにはフレッシュのハーブも用意し、個々のハーブの説明を行い、そのハーブに触れて香りを楽しんでもらう。

① 指導計画・スケジュール

- ・事前の主催者との打ち合わせ。
- ・当日の児童の人数確認。
- ・当日の参加者の年齢（学年）の確認。
- ・当日持参してもらう道具の確認。
- ・卵の殻は、作成の手順の説明を主催者に行い、必要個数より多めに用意してもらう。
- ・布切りバサミは各自持参してもらう。

② 事前の準備

- ・当日必要な資材の購入、卵の殻、ドライハーブ及びハーブティー作成用のレモングラス、レモンバーム、レモンバーベナ、スペアミントなどのフレッシュハーブの用意。
- ・布は一人分ずつに裁断し、竹串と共に袋に入れておく。
- ・ドライハーブは一人分ずつジッパー付袋に入れて用意しておく。当日必要分量より少し多めに計量して配布する。
- ・作り方手順のプリントを作成し、配布する。
- ・エッグポマNDERの完成品のサンプルの他、布の貼り付け作業の始まり部分のサンプルも用意しておくとしかりやすい。

卵の殻の準備

生卵の中央に直径約2cmの円を描く。キリやカッターナイフ、ハサミ等を使って描いた円に沿って穴をあけ、中身を出す。中を洗い、よく乾かしておく。

ハーブの乾燥方法（ドライハーブの作り方）

摘み取ったハーブや花はザルや網の上、あるいは新聞等を敷いたトレイに重ならないように広げて完全に乾かす。長いままの状態乾燥させる場合は10本くらい束ねて吊るして乾燥させる。いずれも直射日光が当たらない風通しの良い場所で乾燥させる。

短期間でパリッと乾燥させることが綺麗に仕上げるコツである。

③ 当日の流れ

- ・時間 2時間：10：00～12：00（卵の殻2個分作成）

■ 所要時間や配分

| | |
|-----------|--|
| 開始60分前 | ① 集合打合せ 会場準備（床・机面養生、材料運び込み・配布、ハーブティー用の水を用意） |
| 10分（10分） | ② 児童集合・挨拶（講師・アシスタント自己紹介） |
| ↓ | |
| 20分（10分） | ③ 簡単なハーブ・ポマNDERについての説明 |
| ↓ | |
| 40分（20分） | ④ 木綿布カット作成作業 |
| ↓ | |
| 50分（10分） | ⑤ 10分間の休憩 |
| ↓ | |
| 55分（5分） | ⑥ 植物の準備（植物の説明をする） |
| ↓ | |
| 70分（15分） | ⑦ ハーブティーサービス |
| ↓ | |
| 110分（40分） | ⑧ 作成作業 |
| ↓ | |
| 120分（10分） | ⑨ 片づけ、終わりの挨拶 |

■ 具体的な手順・作業ポイント

- ・卵の殻は大変壊れやすいので、作業を開始する前に丁寧に扱う事を説明する。
- ・ハーブやポマンダーについての説明をする際には、子ども達がわかりやすい言葉で簡単に行う。
*ポマンダーは、もともと疫病や魔よけのお守りとして身に着けられたことなど説明する。
- ・エッグポマンダーの使い方を説明する。(部屋のインテリアとして飾り、勉強や宿題をして疲れた時、眠れない時などにそのハーブの香りでリラックスできる。)

- ・作成スピードに差が出るため、必要なサイズに布をすべて切りそろえる作業から始める。全員がすべての布を細かく切り終えた時点で、布を卵の殻に貼り付けていく作業の説明を行い、作業をスタートさせる。



- ・布を細かく一定の大きさに切るという作業が難しいので、布に一筋ずつ折り目をつけてはハサミで切る、という作業をすべて切り終えるまで繰り返す。

- ・種類の違う布をどのように卵に貼り付けるか(一種類の布で全体を覆うか、もしくはミックスしてパッチワーク風に貼りつけるか)を自身で選択してもらう。

- ・詰めるハーブを単一あるいはミックスするかを自身で選択してもらう。



- ・ハーブを詰める分量は卵の殻の中に満杯になるまで入れず、振るとカサカサ音になるくらいの分量を指導する。(ハーブが触れ合って香りが漂うように)

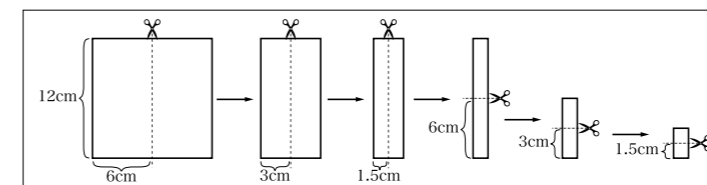
- ・完成したポマンダーは家に持ち帰ってからボンドを完全に乾かすことを説明に加える。

- ・ハーブティーサービスを行う場合は、初めてハーブティーを味わう子供もいるので、無理に勧めることはしないようにする。



■ 作り方

- ① まず初めに木綿布を半分に折っては切るという作業を、布が約1.5cm角の大きさになるまで繰り返す。



- ② 卵の穴の周囲から布を貼り付けていく。穴の部分は布を折り込み、貼り付ける



- ③ ②の作業が終わったら、卵の表面全体に卵の殻が見えなくなるように布を貼り付ける。



- ④ 布の貼り付けが終わったら、ドライハーブを穴から詰める。



- ⑤ 卵の穴からハーブがこぼれないように、オーガンジーを貼って穴をふさぎ、完成させる。

